



# 新聞で 問題に気づく力 が高まる！

## SDGsの学びにつなげる方法を紹介

### 新聞スクラップをやってみよう！

#### ① 記事をえらぶ

「見出し」「前文」をざっと見て「気になる」記事さがそう

#### ② スクラップのやり方

スクラップした日を書く  
記事近くに、しんぶん名とひづけ日付を書く  
「気になった理由」や「読んだ感想」を書く

#### ③ スクラップブックにタイトルをつけよう

「気になる」記事たちに共通するテーマは？  
タイトル(見出し)をつけてみよう

みなさんこんにちは。朝日小学生新聞編集長の富貴大輔です。朝小は毎週木曜日、この「SDGsがわかる」で、SDGs(持続可能な開発目標)の話題を取り上げています。第3週は読者のみなさんの身近にあり、すぐに取り組めることを紹介します。さて一番身近なものって何だろう、と考えて、思いついたのが「朝日小学生新聞」です。SDGsの学びにつなげる新聞の読み方を小学校の元校長先生に聞きました。



手島利夫さん

## 大切なのは「知りたい」気持ち

話を聞いたのは、「ESD、SDGs推進研究室」室長の手島利夫さんです。手島さんは東京都の小学校で校長を務めた経験があり、新聞を使った学びやSDGsを研究しています。

——朝小をSDGsの学びにつなげる方法を聞かせてください。実際、新聞はSDGsの学びに役立ちますか。

手島さん はい。すべての

## 実際の朝小の紙面では…

2025年(令和7年)4月2日 水曜日

見出し  
南海トラフ地震 予測死者2万人  
内閣府の専門家会議 震災の目標下げる

本文  
南海トラフ地震 予測死者2万人  
内閣府の専門家会議 震災の目標下げる

朝日小学生新聞

今年 富山・大阪・金沢 ヘレツゴ

前文(リード)

本文

## つながり見つけ本質とらえる

——朝小で好きな記事を見つけたら、スクラップすることをおすすめしています。

手島さん それが「やらされる作業」だと、よくないですね。学びは、自らやりたいことが大事です。ですから見出しや前文を見て、「自分の気になる記事」を集めていくのはどうでしょう。理由がわからず、「なんとなく気になる」でかまいません。

——テーマは決めず、あくまでそのとき自分が気になるものを探すわけですね。

手島さん そうです。そうして集めた記事の中に、「つ

学びはSDGsにつながっています。

——学びで一番大切なことは、子どもたちの「何だろう、知りたい」という気持ちです。

(朝小をめくりながら)この見出しや前文(リード)には、子どもの興味や関心をさそい、問題意識を高める工夫がしてありますね。

——そうなんです！ 読者は、まずは見出しや前文を見て、その記事を読むかどうかを決めています。だから見出しや前文は、本文よりも大事

——作品ができるまで、です。なるほど……。実は4月から、何をきっかけに取材したのかなど、記者の考えを伝えるコーナーができました(毎週日曜日の「朝小ちよっとう話」)。

手島さん それはとてもいいですね！ どうしてその間

手島さん 新型コロナのときは、広がった問題に対し、国境をこえたつながりや協力で世界が救われました。

ESDの時代は、さまざまな問題やそのつながりにすばやく気づき、広い視野から問題をとらえ、国境や専門性をこえて協力し、問題を解決する力が求められます。

「気になる記事どうしの「つながり」を見つけることは、問題の本質をとらえ、つながりを生かして解決する能力を高めることに役立ちます。

新聞を読みながら、この重要な力を身につけてもらいたいですね。

より良い紙面で良い未来を

どんなきっかけで取材し、記事を書くとき何を考えていたのか。そのあらましを知らせることが、読者の子どもたちの学びに役立つ——手島さんのお話を受けて、今回はために「記事ができるまで」もふくめて書いてみました。

朝小の記事は、できるだけ幅広い分野

をとりあげています。「これが好き」を見つけてほしいです。気になった記事や、読んでどう思ったのかは、記録に残すか、おぼえておいてください。いつか役立ちます。より良い未来をつくるあなたに向け、より良い紙面をつくること。それがいい、わたしにできるSDGsです。

記者の考えを伝える新コーナー「朝小ちよっとう話」

取材エッセイなどお楽しみに

富貴大輔 編集長

大分県生まれ。2005年に朝小編集長で働き始め、今年で20年。大分で朝小を学び、記者時代は科学やスポーツなど多く取材